

競技要項 第4項の詳解

野村謙二郎 CUP リトルシニア予選 競技要項第4項については、下表のとおり行う。

| | 代表決定戦まで | 代表決定戦 |
|--------|----------------------------|-------------|
| 試合成立 | 5回完了 | |
| 正式試合 | 7回 | |
| 投球回数制限 | あり（捕手も含む） | |
| 時間制 | あり（2時間制） | |
| コールド | あり（4回：10点差、5回：7点差） | |
| 延長戦 | なし | |
| タイブレイク | あり（最大3イニング） | あり（決着がつくまで） |
| 抽選決着 | あり（タイブレイク後、同点の場合） | なし |
| 審判 | 全審：各チームから2名ずつ派遣（本部審判：1名待機） | |
| 禁止事項 | 一日4試合、ナイターゲーム ※全て原則 | |

上表の詳解については下記のとおり。

【代表決定戦までの適用について】

（試合成立ならびに正式試合と時間制）

試合は7回まで試合を行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合は例外とする。

- 1 試合成立は5回までとし、5回までは2時間を超えても試合を行います。
- 2 後攻チームが攻撃中、後攻チームがリードしている際に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

（コールドゲーム）

4回10点差 または 5回7点差。

（延長戦）

延長戦は行いません。

（タイブレイク）

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

（抽選決着）

タイブレイク戦でも決着がつかない場合は、最終メンバーにて抽選決着を行います。

【代表決定戦の適用について】

(タイブレイク)

代表決定戦については、**勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。**

(抽選決着)

勝敗が決まるまでタイブレイク戦を行うため、**勝敗抽選は行いません。**

！重要！タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ **タイブレイク戦**は正式試合が成立後、**同点の場合は必ず適用**します。（2時間を超えていても必ず実施）

例：5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。

6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。

7回終了後、同点の場合は、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。

- ・ タイブレイク戦を行っている途中で**2時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- ・ 最大3イニングのタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合のみ、両チームの最終メンバー9名ずつにて抽選決着を行います。（**抽選は代表決定戦以外適用。決定戦は勝敗がつくまで行います**）

【サスペンデットゲーム（特別継続試合）について】

降雨などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

(適用するケース)

- ・ 正式試合（5回完了）になる前に中止になった場合。
- ・ 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

(特別継続試合のルール)

- ① 中止となった元の状態から継続するため、**元の試合で交代した選手は出場できない。**
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ **投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）**
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、**翌日の第一試合**に割り当てられます。

注2) **試合成立後（5回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。**（代表決定戦も含む）

注3) 試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※但し、代表決定戦においては、7回終了後、**タイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、最終メンバーにて抽選決着を行います。**

注4) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることにはできない。（日没の場合も含む）